

えんだより



今日は中秋の名月（十五夜）です。
春からコロナウイルスに翻弄されて落ち着かない日々を送っていますが、澄み切った空を見上げて綺麗な満月を眺めたいです。
年間予定では明後日（10/3）が運動会のはずでした。
多分今日あたり運動会に向けての気分が盛り上がっていた事でしょう。本当に残念です。

★給食室より

お月見とは、旧暦の8月15日と9月13日の夜に、「おだんご」や「ススキ」「芋栗」を供えて月を眺める行事の事を言います。

それぞれを「十五夜」「十三夜」と呼び、十五夜の夜は芋を、十三夜の夜は豆を供えます。お月見は2回行うのが習わしで、どちらか片方だけ月見をするのは「片見月（片月見）」といっ

て縁起が悪いとされています。
今年十五夜が10月1日、十三夜が10月29日なので、ぜひ両日ともにお供えをしてきれいな月を眺め、お月見を楽しみましょう。

最近のニュースで、大きい葡萄を喉に詰まらせて亡くなった子どもがいました。園では今後、大きいぶどうは4等分に切つての提供になります。乳幼児の誤嚥の危険のある食べ物はなるべく小さくしたり、提供しない方向で注意してまいりますので、ご家庭でもぜひ咀嚼の必要性や、注意点などお話しして頂きたいです。

*球状が危険な食べ物

・ミニトマト、乾いたナッツ（節分の打ち豆等）、うずらの卵、あめ・ラムネ、球形の個装チーズ、ぶどう・さくらんぼ

*粘着性が高い食材

・もち、白玉団子

*固くかみぎりにくいもの

・いか

*そのまま飲み込み、唾液を吸収してしまうと危険なもの

・カップゼリー、カステラ、ごはん、ふかし芋・焼きいも

〔事故の無い様に再度注意していきます。〕
〔ご家庭でも、よろしくお願ひします。〕



★保健室より

虫歯の予防方法について

普段、口腔内は中性に保たれていますが、食事の後は酸性になります。

酸性の状態では、虫歯菌が歯の表面を溶かしやすく動きます。

歯磨きで、唾液をたくさん出すことで、口腔内を中性にすることが大切です。

歯磨きは、歯が生えたら始めるのではなく、歯が生える前から、ガーゼで口腔内を拭いたり、また遊びの一環として、乳児の頃から歯ブラシに触れ・慣れることが重要です。自分できれいに磨くことができないうちは、保護者がいていねいに仕上げ磨きをすることが大切です。

*歯磨き中に転倒等で口腔内を傷つけることもあるので、歯磨き中は目を離さないようにしましょう。

*乳児の歯は、いずれ永久歯になるからと放置していませんか？

虫歯菌が歯の根まで感染し、乳歯が抜けた後の永久歯も虫歯になる可能性があります。治療は、早めにしましょう。

虫歯にならない為には

*口の中の清潔を保つ。特に一緒にいる大人の虫歯を治しましょう。

（大人が虫歯菌を保菌していると唾液でうつる場合があります）

*砂糖の多い甘い食べ物・飲み物は、控えめに。

時間と回数を決めて、だらだらと食べない。歯が汚れている時間が長いと虫歯のリスクを高めます。

保護者も含め定期的に歯科受診をし、歯の健康を保ちましょう。



☆クラス紹介（ほし組）☆

「経験を積み重ねることで主体的に考える力を育てていく」

つき組の頃から主体性を大切に、子どもたちの意見を取り入れながら活動を行っています。その中で、友だちの意見や考えに刺激を受けながら自分なりに考える力を育てられるように援助しています。子ども同士のやり取りでは大人が見守る中で思いを伝え合い、話し合いの中で解決したり、自分たちで折り合いをつける場面を大切にしています。集団でゲーム遊びを行う時は、ルールに基づいて作戦を立てたり役割分担をしながら勝ち負けを楽しんでいます。子ども同士が同じ目標に向かい協力し、仲間の自覚や自信を持つことができるように見守っています。

就学に向けて1週間のスケジュールや活動内容をボードに記入し、チャイムの代わりにタイマーを使って切り替えの時間を知らせ、子どもが見通しを持って行動する力を高められるようにしています。このように今後必要となる課題がたくさんあります。今年度は感染症等の影響で小学校への訪問などが制限されていますので、今後は小学校での生活が身近に感じられるように配慮していきます。

